

地方独立行政法人長野市民病院 第4期中期計画・令和8年度（2026年度）年度計画 対照表

第4期中期計画			令和8年度（2026年度）年度計画		
前文 （略）					
第Ⅰ 中期計画の期間					
令和8年4月1日から令和11年3月31日までの4年間とする。					
第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置			第Ⅰ 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置		
Ⅰ 市民病院が担うべき医療			Ⅰ 市民病院が担うべき医療		
(1) 救急医療			(1) 救急医療		
ア 地域の中核病院としての救急医療の充実 救急車を原則として断らない体制を維持しながら、24時間365日、地域住民に安心・安全な救急医療を提供する。 また、救急ワークステーションの機能強化を図る中で、救急隊員の資質向上や救命率向上に取り組むなど、地域の中核病院として救急医療の充実を図る。			ア 地域の中核病院としての救急医療の充実 救急車を原則として断らない体制を維持しながら、24時間365日、地域住民に安心・安全な救急医療を提供する。 また、救急ワークステーションの機能強化を図る中で、救急隊員の資質向上や救命率向上に取り組むなど、地域の中核病院として救急医療の充実を図る。		
イ 救急搬送患者の円滑な受入れ 消防等の関係機関と連携を図りながら、円滑な救急搬送患者の受入れに努めるとともに、中山間地域等からのドクターヘリによる搬送患者についても積極的に受入れを行う。 また、ドクターカーの運用を開始し、後方支援病院への救急搬送患者の下り搬送を含む病院間の搬送を行う。			イ 救急搬送患者の円滑な受入れ 消防等の関係機関と連携を図りながら、円滑な救急搬送患者の受入れに努めるとともに、中山間地域等からのドクターヘリによる搬送患者についても積極的に受入れを行う。 また、医療機関(当院)から直接出勤して医師等を現場へ派遣する「ラビッド・ドクターカー」の試行運用を行うとともに、後方支援病院への救急搬送患者の下り搬送を含む病院間の搬送を行う。		
ウ 重症患者の緊急治療・検査、緊急入院への対応 脳卒中や心筋梗塞、四肢外傷等の急性期患者に対する緊急治療・検査に迅速に対応するとともに、緊急入院患者の円滑な受入れを図る。			ウ 重症患者の緊急治療・検査、緊急入院への対応 脳卒中や心筋梗塞、四肢外傷等の急性期患者に対する緊急治療・検査に迅速に対応するとともに、緊急入院患者の円滑な受入れを図る。		
エ 長野市医師会との協働による夜間初期救急医療の提供 長野市医師会との協働による長野市民病院・医師会 急病センターの運営を継続し、夜間初期救急医療を提供する。			エ 長野市医師会との協働による夜間初期救急医療の提供 長野市医師会との協働による長野市民病院・医師会 急病センターの運営を継続し、夜間初期救急医療を提供する。		
オ 地域の救急医療の質向上 救急隊との症例検討会の開催をはじめ、業務範囲拡大も踏まえた救急救命士のトレーニング及び医療従事者向け蘇生トレーニングコースへの協力などを通して、院内外の救急に携わるスタッフのスキルアップを支援する。			オ 地域の救急医療の質向上 救急隊との症例検討会の開催をはじめ、業務範囲拡大も踏まえた救急救命士のトレーニング及び医療従事者向け蘇生トレーニングコースへの協力などを通して、院内外の救急に携わるスタッフのスキルアップを支援する。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標		令和6年度実績	指標		令和6年度実績
救急車搬送受入件数の長野医療圏全体の救急車搬送件数に占める割合（％）		18.0	救急車搬送受入件数の長野医療圏全体の救急車搬送件数に占める割合（％）		18.0
(注)長野医療圏全体の救急車搬送件数とは、長野市消防局、須坂市消防本部及び千曲坂城消防本部の救急車搬送件数の合計。 令和8年度～令和11年度の目標値は別紙1を参照。（以下、他項目の目標値も同様とする。）			(注)長野医療圏全体の救急車搬送件数とは、長野市消防局、須坂市消防本部及び千曲坂城消防本部の救急車搬送件数の合計。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目		令和6年度実績	項目		令和6年度実績
救急患者受入件数(件)		14,921	救急患者受入件数(件)		14,921
救急入院患者受入件数(件)		3,629	救急入院患者受入件数(件)		3,629

第4期中期計画	令和8年度（2026年度）年度計画																				
(2) がん診療	(2) がん診療																				
ア 地域がん診療連携拠点病院としての高度専門的ながん診療の提供 地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療を推進し、高度専門的ながん診療の提供を図る。 また、がんセンターを中心とした多職種によるチーム医療を推進し、患者の状況に応じた適切な治療を提供するとともに、がんに関わる有資格者の確保・育成を図り、がん診療の水準維持・向上に努める。 イ 先進技術を活用した手術の推進 患者の身体的負担（侵襲）を減らし更なる治療効果の向上を図るため、手術支援ロボットを2台体制で運用し、ロボット手術センターを中心に先進技術を活用した手術を推進する。 ウ 放射線治療の推進 放射線治療に関する有資格者を配置し、患者ニーズに応じて、様々な治療法の中から適切な方法を選択し、安全で高度な放射線治療の提供を図る。 エ 薬物療法の推進 薬物療法に関する有資格者を配置し、院内横断的なチーム医療を通して適切な治療や支援を行い、安全で質の高いがん薬物療法の提供を図る。 また、院外調剤薬局との連携を推進し、外来薬物療法の質を高める。 オ がんゲノム医療の推進 がんゲノム外来に認定遺伝カウンセラーを配置し、がんゲノム医療連携病院としてがんゲノム医療並びに遺伝性腫瘍に対応する。また、院外からの紹介を積極的に受入れる。 カ がん周術期等の口腔ケアの推進 口腔ケア認定資格を有する歯科医師及び歯科衛生士を配置し、口腔ケアチーム等の活動を通して、がん手術患者や薬物療法患者等の口腔ケアを推進する。 キ 緩和ケア提供体制の強化 緩和ケアセンターに緩和ケアに関する有資格者を配置し、傘下の緩和ケアチームの活動等を通して院内外の連携を強化する中で、専門的な緩和ケアの提供を図る。 また、がん患者やその家族に対して、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を含めた意思決定支援の提供を図る。 ク 相談支援体制の充実 国立がん研究センター認定がん相談支援センターとして、専門的な知識を有する相談員の配置や利便性への配慮等により、院内外のがん患者・家族、医療機関等からの相談等に適切に対応する。 また、就労支援についても、地域におけるがん患者の治療と仕事の両立支援を推進する。	ア 地域がん診療連携拠点病院としての高度専門的ながん診療の提供 地域がん診療連携拠点病院として、がん集学的治療を推進し、高度専門的ながん診療の提供を図る。 また、がんセンターを中心とした多職種によるチーム医療を推進し、患者の状況に応じた適切な治療を提供するとともに、がんに関わる有資格者の確保・育成を図り、がん診療の水準維持・向上に努める。 イ 先進技術を活用した手術の推進 患者の身体的負担（侵襲）を減らし更なる治療効果の向上を図るため、手術支援ロボットを2台体制で運用し、ロボット手術センターを中心に先進技術を活用した手術を推進する。 ウ 放射線治療の推進 放射線治療に関する有資格者を配置し、患者ニーズに応じて、様々な治療法の中から適切な方法を選択し、安全で高度な放射線治療の提供を図る。 エ 薬物療法の推進 薬物療法に関する有資格者を配置し、院内横断的なチーム医療を通して適切な治療や支援を行い、安全で質の高いがん薬物療法の提供を図る。 また、院外調剤薬局との連携を推進し、外来薬物療法の質を高める。 オ がんゲノム医療の推進 がんゲノム外来に認定遺伝カウンセラーを配置し、がんゲノム医療連携病院としてがんゲノム医療並びに遺伝性腫瘍に対応する。また、院外からの紹介を積極的に受入れる。 カ がん周術期等の口腔ケアの推進 口腔ケア認定資格を有する歯科医師及び歯科衛生士を配置し、口腔ケアチーム等の活動を通して、がん手術患者や薬物療法患者等の口腔ケアを推進する。 キ 緩和ケア提供体制の強化 緩和ケアセンターに緩和ケアに関する有資格者を配置し、傘下の緩和ケアチームの活動等を通して院内外の連携を強化する中で、専門的な緩和ケアの提供を図る。 また、がん患者やその家族に対して、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）を含めた意思決定支援の提供を図る。 ク 相談支援体制の充実 国立がん研究センター認定がん相談支援センターとして、専門的な知識を有する相談員の配置や利便性への配慮等により、院内外のがん患者・家族、医療機関等からの相談等に適切に対応する。 また、就労支援についても、専従の社会保険労務士を配置し、地域におけるがん患者の治療と仕事の両立支援を推進する。																				
【目標指標】	【目標指標】																				
<table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和11年度目標</th></tr><tr><td>がん新入院患者数(人)</td><td>2,952</td><td>3,000</td></tr></table>	指標	令和6年度実績	令和11年度目標	がん新入院患者数(人)	2,952	3,000	<table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和8年度目標</th></tr><tr><td>がん新入院患者数(人)</td><td>2,952</td><td>3,000</td></tr></table>	指標	令和6年度実績	令和8年度目標	がん新入院患者数(人)	2,952	3,000								
指標	令和6年度実績	令和11年度目標																			
がん新入院患者数(人)	2,952	3,000																			
指標	令和6年度実績	令和8年度目標																			
がん新入院患者数(人)	2,952	3,000																			
【関連項目】	【関連項目】																				
<table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>放射線治療延べ患者数(人)</td><td>394</td></tr><tr><td>薬物療法件数(件)</td><td>10,016</td></tr><tr><td>がん手術件数(件)</td><td>1,162</td></tr><tr><td>がん相談件数(件)</td><td>599</td></tr></table> (注)放射線治療延べ患者数は、一連の治療計画について1人として計上する。 薬物療法件数は、抗がん剤、ホルモン剤等の経口または静注による延べ治療件数。	項目	令和6年度実績	放射線治療延べ患者数(人)	394	薬物療法件数(件)	10,016	がん手術件数(件)	1,162	がん相談件数(件)	599	<table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>放射線治療延べ患者数(人)</td><td>394</td></tr><tr><td>薬物療法件数(件)</td><td>10,016</td></tr><tr><td>がん手術件数(件)</td><td>1,162</td></tr><tr><td>がん相談件数(件)</td><td>599</td></tr></table> (注)放射線治療延べ患者数は、一連の治療計画について1人として計上する。 薬物療法件数は、抗がん剤、ホルモン剤等の経口または静注による延べ治療件数。	項目	令和6年度実績	放射線治療延べ患者数(人)	394	薬物療法件数(件)	10,016	がん手術件数(件)	1,162	がん相談件数(件)	599
項目	令和6年度実績																				
放射線治療延べ患者数(人)	394																				
薬物療法件数(件)	10,016																				
がん手術件数(件)	1,162																				
がん相談件数(件)	599																				
項目	令和6年度実績																				
放射線治療延べ患者数(人)	394																				
薬物療法件数(件)	10,016																				
がん手術件数(件)	1,162																				
がん相談件数(件)	599																				

第4期中期計画			令和8年度（2026年度）年度計画		
(3) 脳・心臓・血管診療			(3) 脳・心臓・血管診療		
ア 脳卒中治療の充実 地域の一次脳卒中センターとしての役割を果たすため、急性期脳梗塞に対するrt-PA（アルテプラゼ）静注療法や血栓回収療法等の脳血管内治療を積極的に推進し、脳卒中ケアユニット（SCU）を有効活用する中で、脳卒中治療の充実を図る。			ア 脳卒中治療の充実 地域の一次脳卒中センター（ <u>PSC</u> ） <u>コア施設</u> としての役割を果たすため、急性期脳梗塞に対するrt-PA（アルテプラゼ）静注療法や血栓回収療法等の脳血管内治療を積極的に推進し、脳卒中ケアユニット（SCU）を有効活用する中で、脳卒中治療の充実を図る。		
イ 心臓・血管診療の充実 急性心筋梗塞や狭心症等の虚血性心疾患、心房細動などの不整脈疾患をはじめとする様々な循環器系疾患に対し、循環器内科や心臓血管外科等が連携し、先進的な技術を積極的に取り入れてカテーテル治療や外科手術等の適切な治療を提供する。 また、下肢の血流障害に対して血管内治療等を提供するなど、足の治療に関する幅広いニーズにも対応する。			イ 心臓・血管診療の充実 急性心筋梗塞や狭心症等の虚血性心疾患、心房細動などの不整脈疾患をはじめとする様々な循環器系疾患に対し、循環器内科や心臓血管外科等が連携し、先進的な技術を積極的に取り入れてカテーテル治療や外科手術等の適切な治療を提供する。 また、下肢の血流障害に対して血管内治療等を提供するなど、足の <u>血流障害に対する</u> ニーズにも対応する。		
ウ 糖尿病治療の充実 糖尿病の治療や療養に関する有資格者を配置し、チーム医療による療養指導や入院や外来での栄養指導、糖尿病教室の開催など糖尿病患者に対する指導を積極的にを行い、重症化防止に取り組む。 また、地域の医療従事者向けの研修会や、地域住民向けの講演会などを開催し、地域の糖尿病治療の質向上や糖尿病予防を図る。			ウ 糖尿病治療の充実 糖尿病の治療や療養に関する有資格者を配置し、チーム医療による療養指導や入院や外来での栄養指導、糖尿病教室の開催など糖尿病患者に対する指導を積極的にを行い、重症化防止に取り組む。 また、地域の医療従事者向けの研修会や、地域住民向けの講演会などを開催し、地域の糖尿病治療の質向上や糖尿病予防を図る。		
エ 透析治療の充実 透析センターに透析治療に関する有資格者を配置し、患者の状態に応じてチーム医療による安心・安全でプライバシーや感染対策に配慮した透析治療を提供する。			エ 透析治療の充実 透析センターに透析治療に関する有資格者を配置し、患者の状態に応じてチーム医療による安心・安全でプライバシーや感染対策に配慮した透析治療を提供する。		
オ 重症化予防 脳卒中、心不全、糖尿病、慢性腎臓病における重症化予防に向けた外来機能や相談窓口の充実を図る。			オ 重症化予防 脳卒中、心不全、糖尿病、慢性腎臓病における重症化予防に向けた外来機能や相談窓口の充実を図る。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目		令和6年度実績	項目		令和6年度実績
脳血栓回収療法件数（件）		32	脳血栓回収療法件数（件）		32
心臓カテーテル治療件数（件）		169	心臓カテーテル治療件数（件）		169
維持透析延べ回数（回）		8,962	維持透析延べ回数（回）		8,962
(4) 手術・集中治療			(4) 手術・集中治療		
ア 手術部門の体制強化 医師・看護師等のスタッフの適切な確保を図るとともに、手術室の運用効率化を検討し、手術部門の体制強化に取り組む。 また、専門知識を有するスタッフで構成する周術期管理チームの活動を推進し、手術を受ける患者に安心・安全な周術期環境を提供する。			ア 手術部門の体制強化 医師・看護師等のスタッフの適切な確保を図るとともに、 <u>手術室最適化プロジェクトチームを中心に</u> 手術室の運用効率化を検討し、手術部門の体制強化に取り組む。 また、専門知識を有するスタッフで構成する周術期管理チームの活動を推進し、手術を受ける患者に安心・安全な周術期環境を提供する。		
イ 集中治療部門の機能充実 集中治療室（ICU）及びハイケアユニット（HCU・ECU）において、より安全で良質な集中治療を提供するとともに、病床の有効利用を図る。			イ 集中治療部門の機能充実 集中治療室（ICU）及びハイケアユニット（HCU・ECU）において、より安全で良質な集中治療を提供するとともに、病床の有効利用を図る。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標		令和6年度実績	指標		令和6年度実績
全身麻酔手術件数（件）		3,070	全身麻酔手術件数（件）		3,070
(5) 高齢者等に配慮した医療			(5) 高齢者等に配慮した医療		
認知症ケアチームの活動の充実を図り、高齢者等で認知症を持つ急性期患者に適切な認知症ケアを提供できる体制を強化するほか、身体拘束最小化チームを中心に入院患者への身体的拘束の最小化に取り組み、高齢者のADL（日常生活動作）の維持・向上を図る。また、早期退院や寝たきり防止、QOL（生活の質）の向上などを目指して、排尿ケアチームによる排尿自立指導に取り組む。 高齢者の軽症急性期入院については、地域包括ケア病棟等を活用し、適切に対応する。			認知症ケアチームの活動の充実を図り、高齢者等で認知症を持つ急性期患者に適切な認知症ケアを提供できる体制を強化するほか、身体拘束最小化チームを中心に入院患者への身体的拘束の最小化に取り組み、高齢者のADL（日常生活動作）の維持・向上を図る。また、早期退院や寝たきり防止、QOL（生活の質）の向上などを目指して、排尿ケアチームによる排尿自立指導に取り組む。 高齢者の軽症急性期入院については、地域包括ケア病棟等を活用し、適切に対応する。		

第4期中期計画			令和8年度（2026年度）年度計画		
【関連項目】			【関連項目】		
項目		令和6年度実績	項目		令和6年度実績
認知症ケアチーム新規介入件数(件)		1,037	認知症ケアチーム新規介入件数(件)		1,037
(6) 急性期後の患者に対する医療			(6) 急性期後の患者に対する医療		
ア 訪問看護体制の強化 地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、24時間訪問看護体制の強化を図る。 イ リハビリテーション提供体制の強化 リハビリテーションの提供体制を強化し、患者への訓練時間の増加に努めることで、更なる回復や生活の質の向上を目指す。 ウ 地域包括ケア病棟の効率的な運用 地域包括ケア病棟を効率的に運用し、在宅復帰支援やサブアキュート機能及びレスパイト機能など、地域で求められるニーズへの対応の強化を図る。			ア 訪問看護体制の強化 地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、24時間訪問看護体制の強化を図る。 イ リハビリテーション提供体制の強化 リハビリテーションの提供体制を強化し、患者への訓練時間の増加に努めることで、更なる回復や生活の質の向上を目指す。 ウ 地域包括ケア病棟の効率的な運用 地域包括ケア病棟を効率的に運用し、在宅復帰支援やサブアキュート機能及びレスパイト機能など、地域で求められるニーズへの対応の強化を図る。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	令和6年度実績	令和11年度目標	指標	令和6年度実績	令和8年度目標
地域包括ケア病棟への直接入院患者数(人)	673	施設基準要件以上	地域包括ケア病棟への直接入院患者数(人)	673	施設基準要件以上
理学療法件数(件)	55,829	56,560	理学療法件数(件)	55,829	56,140
作業療法件数(件)	33,631	33,950	作業療法件数(件)	33,631	33,710
言語療法件数(件)	23,415	26,130	言語療法件数(件)	23,415	25,950
【関連項目】			【関連項目】		
項目		令和6年度実績	項目		令和6年度実績
在宅復帰率(7対1病棟)(%)		96.0	在宅復帰率(7対1病棟)(%)		96.0
在宅復帰率(地域包括ケア病棟)(%)		81.7	在宅復帰率(地域包括ケア病棟)(%)		81.7
(7) 子どもに関わる医療			(7) 子どもに関わる医療		
ア 小児心身症・発達障害等の小児医療の推進 地域の医療・福祉機関や教育機関等と連携し、院内の多職種によるチーム医療を通して、小児心身症・発達障害等の専門的な治療を推進する。 イ 不妊治療の推進 生殖医療センターに生殖医療や不妊症看護に関する専門職を配置し、高度生殖医療を提供して不妊治療を推進する。 ウ 病後児保育への対応 市の子育て部門と連携し、院内託児所を活用した病後児保育を適切に運用する。			ア 小児心身症・発達障害等の小児医療の推進 地域の医療・福祉機関や教育機関等と連携し、院内の多職種によるチーム医療を通して、小児心身症・発達障害等の専門的な治療を推進する。 イ 不妊治療の推進 生殖医療センターに生殖医療や不妊症看護に関する専門職を配置し、高度生殖医療を提供して不妊治療を推進する。 ウ 病後児保育への対応 市の子育て部門と連携し、院内託児所を活用した病後児保育を適切に運用する。		
(8) 予防医療			(8) 予防医療		
市の健康福祉部門と連携しながら、人間ドックをはじめとする健診事業を通して、糖尿病や循環器病、フレイル、骨粗しょう症等の予防啓発や、マンモグラフィまたは超音波検査による市民乳がん検診の実施等により、がんその他生活習慣病の早期発見・早期治療を推進する。 また、健診センターの運営体制の強化や効率化を図る中で、人間ドックの受入状況を改善するほか、健診の質的向上並びに快適性・利便性の向上を図る。			市の健康福祉部門と連携しながら、人間ドックをはじめとする健診事業を通して、糖尿病や循環器病、フレイル、骨粗しょう症等の予防啓発や、マンモグラフィまたは超音波検査による市民乳がん検診の実施等により、がんその他生活習慣病の早期発見・早期治療を推進する。 また、健診センターの運営体制の強化や効率化を図る中で、人間ドックの受入状況を改善するほか、健診の質的向上並びに快適性・利便性の向上を図る。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	令和6年度実績	令和11年度目標	指標	令和6年度実績	令和8年度目標
人間ドック延べ利用者数(人)	7,998	8,200	人間ドック延べ利用者数(人)	7,998	8,200

第4期中期計画	令和8年度（2026年度）年度計画												
(9) 災害時対応	(9) 災害時対応												
ア 災害発生時の備えとしての医療・救護体制の整備 市との連携のもと、あらゆる災害を想定し、BCP（事業継続計画）の継続的な見直しを行うとともに、訓練や研修を充実させるなど医療・救護体制の整備を図る。 また、地震や水害等を想定した施設・設備の整備を図る。	ア 災害発生時の備えとしての医療・救護体制の整備 市との連携のもと、あらゆる災害を想定し、BCP（事業継続計画）の継続的な見直しを行うとともに、訓練や研修を充実させるなど医療・救護体制の整備を図る。 また、地震や水害等を想定した施設・設備の整備を図る。												
イ 地域災害拠点病院としての役割 地域の防災体制の中で地域災害拠点病院としての役割を担うべく、必要な体制整備を図る。 また、長野県DMAT指定病院として必要な体制整備を図り、大規模災害時には県からの要請により、DMATの派遣等、被災地域への支援を行う。	イ 地域災害拠点病院としての役割 地域の防災体制の中で地域災害拠点病院としての役割を担うべく、必要な体制整備を図る。 また、長野県DMAT指定病院として必要な体制整備を図り、大規模災害時には県からの要請により、DMATの派遣等、被災地域への支援を行う。												
【目標指標】	【目標指標】												
<table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和11年度目標</th></tr><tr><td>日本DMAT資格保有者延べ人数（人）</td><td>16</td><td>23</td></tr></table>	指標	令和6年度実績	令和11年度目標	日本DMAT資格保有者延べ人数（人）	16	23	<table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和8年度目標</th></tr><tr><td>日本DMAT資格保有者延べ人数（人）</td><td>16</td><td>20</td></tr></table>	指標	令和6年度実績	令和8年度目標	日本DMAT資格保有者延べ人数（人）	16	20
指標	令和6年度実績	令和11年度目標											
日本DMAT資格保有者延べ人数（人）	16	23											
指標	令和6年度実績	令和8年度目標											
日本DMAT資格保有者延べ人数（人）	16	20											
(10) 新興感染症等への対応	(10) 新興感染症等への対応												
新興感染症及び再興感染症の発生・拡大に備え、ハード・ソフト両面において感染症対策の強化を図る。感染発生時には、一般医療との両立を図りながら、長野県との医療措置協定に基づき、長野県等の関係機関・関係団体等との連携・協力のもと、迅速かつ適切に必要な医療を提供する。	新興感染症及び再興感染症の発生・拡大に備え、ハード・ソフト両面において感染症対策の強化を図る。感染発生時には、一般医療との両立を図りながら、長野県との医療措置協定に基づき、長野県等の関係機関・関係団体等との連携・協力のもと、迅速かつ適切に必要な医療を提供する。												
2 患者サービスの向上	2 患者サービスの向上												
(1) 患者中心の医療	(1) 患者中心の医療												
ア 患者の視点に立った「説明と同意」の徹底 長野市民病院が掲げる「患者さんの権利」に則り、医療上の情報提供及び十分な説明を受ける権利、並びに患者の自己決定権を尊重し、患者や家族に対する「説明と同意」の徹底を図る。	ア 患者の視点に立った「説明と同意」の徹底 長野市民病院が掲げる「患者さんの権利」に則り、医療上の情報提供及び十分な説明を受ける権利、並びに患者の自己決定権を尊重し、患者や家族に対する「説明と同意」の徹底を図る。												
イ クリニカルパスの活用による医療の標準化及びチーム医療の質向上 クリニカルパスの適用拡大と評価・改善により、医療の標準化とチーム医療の質向上を図り、患者に分かりやすく安全で質の高い医療の提供に努める。	イ クリニカルパスの活用による医療の標準化及びチーム医療の質向上 クリニカルパスの適用拡大と評価・改善により、医療の標準化とチーム医療の質向上を図り、患者に分かりやすく安全で質の高い医療の提供に努める。												
ウ セル看護提供方式®による医療の質向上 令和6年度に導入したセル看護提供方式®により、患者の傍でケアできる時間の確保とケアの充実を図り、医療の質の向上に努める。	ウ セル看護提供方式®による医療の質向上 令和6年度に導入したセル看護提供方式®により、患者の傍でケアできる時間の確保とケアの充実を図り、医療の質の向上に努める。												
【目標指標】	【目標指標】												
<table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和11年度目標</th></tr><tr><td>クリニカルパス適用率（%）</td><td>50.3</td><td>54.0</td></tr></table>	指標	令和6年度実績	令和11年度目標	クリニカルパス適用率（%）	50.3	54.0	<table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和8年度目標</th></tr><tr><td>クリニカルパス適用率（%）</td><td>50.3</td><td>51.0</td></tr></table>	指標	令和6年度実績	令和8年度目標	クリニカルパス適用率（%）	50.3	51.0
指標	令和6年度実績	令和11年度目標											
クリニカルパス適用率（%）	50.3	54.0											
指標	令和6年度実績	令和8年度目標											
クリニカルパス適用率（%）	50.3	51.0											
(2) 快適性及び利便性の向上	(2) 快適性及び利便性の向上												
ア 接遇の向上 挨拶の励行を通して、来院者と職員、あるいは職員同士で心が通う明るい雰囲気づくりを推進する。 また、関連するカンファレンスでの検証や接遇アンケート、接遇に関する研修等を実施し、接遇レベルの向上に取り組む。	ア 接遇の向上 挨拶の励行を通して、来院者と職員、あるいは職員同士で心が通う明るい雰囲気づくりを推進する。 また、関連するカンファレンスでの検証や接遇アンケート、接遇に関する研修等を実施し、接遇レベルの向上に取り組む。												
イ プライバシー確保や利便性に配慮した院内環境の整備 外来待合や会計窓口等における患者のプライバシー確保を図るとともに、利便性への配慮を行うなど、院内環境の整備に取り組む。	イ プライバシー確保や利便性に配慮した院内環境の整備 外来待合や会計窓口等における患者のプライバシー確保を図るとともに、利便性への配慮を行うなど、院内環境の整備に取り組む。												
ウ 外来診療の待ち時間、検査・手術待ちの改善等 外来診療の運用見直しを進める中で、診察待ち時間や検査・手術待ちに関する課題の把握と改善に取り組む、患者の利便性向上に努める。	ウ 外来診療の待ち時間、検査・手術待ちの改善等 外来診療の運用見直しを進める中で、診察待ち時間や検査・手術待ちに関する課題の把握と改善に取り組む、患者の利便性向上に努める。												

第4期中期計画	令和8年度（2026年度）年度計画																		
エ 患者満足度の向上 患者満足度調査の結果に基づき、データの経年比較や他施設との比較により課題を把握し、継続的な改善に取り組む。 また、院内に設置した投書箱などへ寄せられる苦情・要望等を真摯に受け止め、病院運営の改善を図る。 【目標指標】 <table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和11年度目標</th></tr><tr><td>入院患者総合満足度（％）</td><td>85.8</td><td>前年度実績以上</td></tr><tr><td>外来患者総合満足度（％）</td><td>77.7</td><td>前年度実績以上</td></tr></table>	指標	令和6年度実績	令和11年度目標	入院患者総合満足度（％）	85.8	前年度実績以上	外来患者総合満足度（％）	77.7	前年度実績以上	エ 患者満足度の向上 患者満足度調査の結果に基づき、データの経年比較や他施設との比較により課題を把握し、継続的な改善に取り組む。 また、院内に設置した投書箱などへ寄せられる苦情・要望等を真摯に受け止め、病院運営の改善を図る。 【目標指標】 <table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和8年度目標</th></tr><tr><td>入院患者総合満足度（％）</td><td>85.8</td><td>前年度実績以上</td></tr><tr><td>外来患者総合満足度（％）</td><td>77.7</td><td>前年度実績以上</td></tr></table>	指標	令和6年度実績	令和8年度目標	入院患者総合満足度（％）	85.8	前年度実績以上	外来患者総合満足度（％）	77.7	前年度実績以上
指標	令和6年度実績	令和11年度目標																	
入院患者総合満足度（％）	85.8	前年度実績以上																	
外来患者総合満足度（％）	77.7	前年度実績以上																	
指標	令和6年度実績	令和8年度目標																	
入院患者総合満足度（％）	85.8	前年度実績以上																	
外来患者総合満足度（％）	77.7	前年度実績以上																	
(3) 情報提供の推進 ホームページ、広報誌、動画など多様なメディアを活用し、医療に関する情報等を積極的に発信する。 また、病院祭「ふれ愛デー」や市民健康講座等の市民向け講演会や出前講座を行うことにより、医療に関する情報、糖尿病予防やフレイル予防など健康に関する情報の発信や普及啓発に努め、地域住民の健康の保持・増進に寄与する。 【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>市民向け講座開催数（回）</td><td>2</td></tr></table>	項目	令和6年度実績	市民向け講座開催数（回）	2	(3) 情報提供の推進 ホームページ、広報誌、動画など多様なメディアを活用し、医療に関する情報等を積極的に発信する。 また、病院祭「ふれ愛デー」や市民健康講座等の市民向け講演会や出前講座を行うことにより、医療に関する情報、糖尿病予防やフレイル予防など健康に関する情報の発信や普及啓発に努め、地域住民の健康の保持・増進に寄与する。 【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>市民向け講座開催数（回）</td><td>2</td></tr></table>	項目	令和6年度実績	市民向け講座開催数（回）	2										
項目	令和6年度実績																		
市民向け講座開催数（回）	2																		
項目	令和6年度実績																		
市民向け講座開催数（回）	2																		
3 医療に関する調査及び研究 医療技術の発展に貢献するため、治験センターの運営等を通して新薬や新しい治療法に関する治験、市販後調査、大学などと連携した医師主導型の臨床研究等への参加を推進する。 また、長野市民病院医学雑誌の発刊や院内学術発表会の開催等により職員の研究意欲を引き出し、高度専門医療を担う病院として、医療水準の更なる向上を図る。 【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>治験件数（件）</td><td>16</td></tr><tr><td>臨床研究件数（件）</td><td>18</td></tr></table> (注)治験件数は、新規および継続中の合計件数。 臨床研究件数は、新規の件数。	項目	令和6年度実績	治験件数（件）	16	臨床研究件数（件）	18	3 医療に関する調査及び研究 医療技術の発展に貢献するため、治験センターの運営等を通して新薬や新しい治療法に関する治験、市販後調査、大学などと連携した医師主導型の臨床研究等への参加を推進する。 また、長野市民病院医学雑誌の発刊や院内学術発表会の開催等により職員の研究意欲を引き出し、高度専門医療を担う病院として、医療水準の更なる向上を図る。 【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>治験件数（件）</td><td>16</td></tr><tr><td>臨床研究件数（件）</td><td>18</td></tr></table> (注)治験件数は、新規および継続中の合計件数。 臨床研究件数は、新規の件数。	項目	令和6年度実績	治験件数（件）	16	臨床研究件数（件）	18						
項目	令和6年度実績																		
治験件数（件）	16																		
臨床研究件数（件）	18																		
項目	令和6年度実績																		
治験件数（件）	16																		
臨床研究件数（件）	18																		
4 医療提供体制の充実 (1) 地域包括ケアシステム推進体制の充実 ア 地域医療支援病院としての地域完結型医療の推進 高度急性期・急性期機能を有する地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関として、かかりつけ医や地域の医療機関との機能分担と連携をなお一層強化し、紹介・逆紹介を円滑に進めながら、地域完結型医療を推進する。 イ 地域包括ケアシステムの更なる充実に向けた在宅医療の推進 地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、地域包括ケア病棟を活用し、在宅復帰支援や施設・在宅からの緊急入院、レスパイト入院受入れに積極的に対応するほか、24時間訪問看護体制の維持・充実と併せて訪問リハビリテーションを提供し、変化する地域の在宅医療の需要に適切に対応する。 また、「長野市在宅医療・介護連携支援センター事業」の運営や「医療と介護の連携推進セミナー」等の研修会を開催するなど、地域の在宅医療・介護関係者に対する情報提供や市民への啓発を推進する。	4 医療提供体制の充実 (1) 地域包括ケアシステム推進体制の充実 ア 地域医療支援病院としての地域完結型医療の推進 高度急性期・急性期機能を有する地域医療支援病院及び紹介受診重点医療機関として、かかりつけ医や地域の医療機関との機能分担と連携をなお一層強化し、紹介・逆紹介を円滑に進めながら、地域完結型医療を推進する。 イ 地域包括ケアシステムの更なる充実に向けた在宅医療の推進 地域の医療機関や介護サービス事業所と緊密に連携しながら、地域包括ケア病棟を活用し、在宅復帰支援や施設・在宅からの緊急入院、レスパイト入院受入れに積極的に対応するほか、24時間訪問看護体制の維持・充実と併せて訪問リハビリテーションを提供し、変化する地域の在宅医療の需要に適切に対応する。 また、「長野市在宅医療・介護連携支援センター事業」の運営や「医療と介護の連携推進セミナー」等の研修会を開催するなど、地域の在宅医療・介護関係者に対する情報提供や市民への啓発を推進する。																		

第4期中期計画			令和8年度(2026年度) 年度計画		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	令和6年度実績	令和11年度目標	指標	令和6年度実績	令和8年度目標
紹介件数(件)	14,932	15,600	紹介件数(件)	14,932	15,150
逆紹介件数(件)	11,843	13,200	逆紹介件数(件)	11,843	12,450
訪問看護訪問件数(件)	6,857	8,400	訪問看護訪問件数(件)	6,857	8,280
【関連項目】			【関連項目】		
項目	令和6年度実績		項目	令和6年度実績	
紹介率(%)	82.1		紹介率(%)	82.1	
逆紹介率(%)	92.8		逆紹介率(%)	92.8	
(2) 地域医療構想を踏まえた連携強化			(2) 地域医療構想を踏まえた連携強化		
長野県地域医療構想を踏まえ、長野医療圏内の他の医療機関や介護施設等との機能分担に努めるとともに、救急医療に係る病院間連携を推進し、引き続き長野医療圏における医療水準の向上に寄与する。 なお、中期計画期間の最終年度(令和11年度)における当院の病床機能ごとの病床数は以下の表の通りである。精神科領域の入院医療については、地域の医療機関との連携により対応する。			長野県地域医療構想を踏まえ、長野医療圏内の他の医療機関や介護施設等との機能分担に努めるとともに、救急医療に係る病院間連携を推進し、引き続き長野医療圏における医療水準の向上に寄与する。 なお、令和8年度における当院の病床機能ごとの病床数は以下の表の通りである。精神科領域の入院医療については、地域の医療機関との連携により対応する。		
【令和11年度における病床機能ごとの病床数】			【令和8年度における病床機能ごとの病床数】		
病床機能	病床数		病床機能	病床数	
高度急性期(床)	201		高度急性期(床)	169	
急性期(床)	143		急性期(床)	175	
回復期(床)	56		回復期(床)	56	
合計(床)	400		合計(床)	400	
(注)長野県地域医療構想の状況によっては変更となる可能性あり。			(注)長野県地域医療構想の状況によっては変更となる可能性あり。		
(3) 近隣病院等への診療支援			(3) 近隣病院等への診療支援		
長野県が指定する地域医療人材拠点病院としての派遣を含め、近隣の医師が不足する病院及びへき地医療を担う国保診療所等への診療支援として、引き続き医師派遣を行う。			長野県が指定する地域医療人材拠点病院としての派遣を含め、近隣の医師が不足する病院及びへき地医療を担う国保診療所等への診療支援として、引き続き医師派遣を行う。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	令和6年度実績		項目	令和6年度実績	
医師派遣延べ件数(件)	168		医師派遣延べ件数(件)	168	
(注)長野県が要綱で定める医師不足が深刻な病院又は診療所への医師派遣件数。			(注)長野県が要綱で定める医師不足が深刻な病院又は診療所への医師派遣件数。		
(4) 医療機器の計画的な更新・整備			(4) 医療機器の計画的な更新・整備		
地域の医療需要や医療技術の進展、費用対効果、患者ニーズ等を踏まえ、地域における機能分担と連携を図る中で、高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、高額医療機器更新計画(6ヶ年)を含め、効率的で効果的な予算執行により医療機器の更新・整備を進める。			地域の医療需要や医療技術の進展、費用対効果、患者ニーズ等を踏まえ、地域における機能分担と連携を図る中で、高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、高額医療機器更新計画(6ヶ年)を含め、効率的で効果的な予算執行により医療機器の更新・整備を進める。		
(5) 医療DXの推進			(5) 医療DXの推進		
ICT(情報通信技術)を活用した院外からの画像参照等による医療の質向上や、システム連携による入力業務の軽減、レセプトの自動チェック等による医療従事者の負担軽減並びに請求業務の質向上を図るとともに、生成AIやRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)などのデジタル技術を積極的に活用し、業務の効率化を図る。 また、オンライン診療の活用を検討するとともに、国の施策の動向等を踏まえながら、医療DXを推進する。			ICT(情報通信技術)を活用した院外からの画像参照等による医療の質向上や、システム連携による入力業務の軽減、レセプトの自動チェック等による医療従事者の負担軽減並びに請求業務の質向上を図るとともに、生成AIやRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)などのデジタル技術を積極的に活用し、業務の効率化を図る。 また、オンライン診療の活用を検討するとともに、国の施策の動向等を踏まえながら、医療DXを推進する。		
(6) 先進医療の推進			(6) 先進医療の推進		
高度な医療技術やロボット支援手術等の先進医療を積極的に導入・活用し、高度で良質、安全な医療を提供する。			高度な医療技術やロボット支援手術等の先進医療を積極的に導入・活用し、高度で良質、安全な医療を提供する。		

第4期中期計画	令和8年度（2026年度）年度計画																																
(7) 医療職の人材確保及び育成 ア 医師、看護師、その他必要な人材の確保 診療機能の維持・強化のため、医師をはじめ、看護師、薬剤師、その他医療職の多様な働き方を検討しつつ処遇改善を図り、適切な確保に努める。 イ 専門性を持った質の高い人材の育成 専門医や技術認定医等の取得・更新を支援するとともに、チーム医療を支える高い専門性を持った看護師、薬剤師等の医療スタッフのほか、デジタル技術に強く、活用ができる人材の育成に努める。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>医師数(人)</td><td>123</td></tr> <tr> <td>看護師数(人)</td><td>531</td></tr> <tr> <td>薬剤師数(人)</td><td>26</td></tr> <tr> <td>診療技術部職員数(人)</td><td>115</td></tr> <tr> <td>100床当たり職員数(人)</td><td>242</td></tr> <tr> <td>専門医延べ人数(人)</td><td>156</td></tr> <tr> <td>専門看護師、認定看護師延べ人数(人)</td><td>24</td></tr> </table> (注) 令和7年3月31日現在の人数を記載。 医師数には歯科医師、臨床研修医を含む。 看護師数、薬剤師数、診療技術部職員数、100床当たり職員数には非正規職員を含む。	項目	令和6年度実績	医師数(人)	123	看護師数(人)	531	薬剤師数(人)	26	診療技術部職員数(人)	115	100床当たり職員数(人)	242	専門医延べ人数(人)	156	専門看護師、認定看護師延べ人数(人)	24	(7) 医療職の人材確保及び育成 ア 医師、看護師、その他必要な人材の確保 診療機能の維持・強化のため、医師をはじめ、看護師、薬剤師、その他医療職の多様な働き方を検討しつつ処遇改善を図り、適切な確保に努める。 イ 専門性を持った質の高い人材の育成 専門医や技術認定医等の取得・更新を支援するとともに、チーム医療を支える高い専門性を持った看護師、薬剤師等の医療スタッフのほか、デジタル技術に強く、活用ができる人材の育成に努める。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>医師数(人)</td><td>123</td></tr> <tr> <td>看護師数(人)</td><td>531</td></tr> <tr> <td>薬剤師数(人)</td><td>26</td></tr> <tr> <td>診療技術部職員数(人)</td><td>115</td></tr> <tr> <td>100床当たり職員数(人)</td><td>242</td></tr> <tr> <td>専門医延べ人数(人)</td><td>156</td></tr> <tr> <td>専門看護師、認定看護師延べ人数(人)</td><td>24</td></tr> </table> (注) 令和7年3月31日現在の人数を記載。 医師数には歯科医師、臨床研修医を含む。 看護師数、薬剤師数、診療技術部職員数、100床当たり職員数には非正規職員を含む。	項目	令和6年度実績	医師数(人)	123	看護師数(人)	531	薬剤師数(人)	26	診療技術部職員数(人)	115	100床当たり職員数(人)	242	専門医延べ人数(人)	156	専門看護師、認定看護師延べ人数(人)	24
項目	令和6年度実績																																
医師数(人)	123																																
看護師数(人)	531																																
薬剤師数(人)	26																																
診療技術部職員数(人)	115																																
100床当たり職員数(人)	242																																
専門医延べ人数(人)	156																																
専門看護師、認定看護師延べ人数(人)	24																																
項目	令和6年度実績																																
医師数(人)	123																																
看護師数(人)	531																																
薬剤師数(人)	26																																
診療技術部職員数(人)	115																																
100床当たり職員数(人)	242																																
専門医延べ人数(人)	156																																
専門看護師、認定看護師延べ人数(人)	24																																
(8) 教育研修 ア 初期・後期臨床研修機能の充実 総合的かつ全人的な医療を提供できる医師の育成を基本方針とし、医師不足地域での地域医療研修を含む臨床研修プログラムの継続的な改善などに取り組み、研修医から選ばれる臨床研修病院を目指す。 イ 地域医療従事者の教育並びに学生の研修・実習受入れ 地域がん診療連携拠点病院及び地域医療支援病院として、地域医療従事者を対象とした症例検討会やがん診療に関する研修会等を計画的に開催するほか、医学生、看護学生及び薬学生等の研修・実習についても積極的な受入れを行う。 ウ 職員のキャリアアップ支援 資格取得や院内外の学会・研修会等への参加を奨励し、必要な経費の負担や「長野市民病院ふれ愛基金」を財源とした助成を行うなど、職員のキャリアアップを積極的に支援する。 また、医師をはじめとする職員の国内外への研修を支援する。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>初期研修医応募者数(人)</td><td>25</td></tr> <tr> <td>地域医療従事者向け研修等開催数(回)</td><td>12</td></tr> <tr> <td>学会参加費用支援数(回)</td><td>411</td></tr> </table>	項目	令和6年度実績	初期研修医応募者数(人)	25	地域医療従事者向け研修等開催数(回)	12	学会参加費用支援数(回)	411	(8) 教育研修 ア 初期・後期臨床研修機能の充実 総合的かつ全人的な医療を提供できる医師の育成を基本方針とし、医師不足地域での地域医療研修を含む臨床研修プログラムの継続的な改善などに取り組み、研修医から選ばれる臨床研修病院を目指す。 イ 地域医療従事者の教育並びに学生の研修・実習受入れ 地域がん診療連携拠点病院及び地域医療支援病院として、地域医療従事者を対象とした症例検討会やがん診療に関する研修会等を計画的に開催するほか、医学生、看護学生及び薬学生等の研修・実習についても積極的な受入れを行う。 ウ 職員のキャリアアップ支援 資格取得や院内外の学会・研修会等への参加を奨励し、必要な経費の負担や「長野市民病院ふれ愛基金」を財源とした助成を行うなど、職員のキャリアアップを積極的に支援する。 また、医師をはじめとする職員の国内外への研修を支援する。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>初期研修医応募者数(人)</td><td>25</td></tr> <tr> <td>地域医療従事者向け研修等開催数(回)</td><td>12</td></tr> <tr> <td>学会参加費用支援数(回)</td><td>411</td></tr> </table>	項目	令和6年度実績	初期研修医応募者数(人)	25	地域医療従事者向け研修等開催数(回)	12	学会参加費用支援数(回)	411																
項目	令和6年度実績																																
初期研修医応募者数(人)	25																																
地域医療従事者向け研修等開催数(回)	12																																
学会参加費用支援数(回)	411																																
項目	令和6年度実績																																
初期研修医応募者数(人)	25																																
地域医療従事者向け研修等開催数(回)	12																																
学会参加費用支援数(回)	411																																
(9) 医療安全対策 ア 医療事故防止対策 専従のリスクマネージャーを中心に、インシデントやアクシデントの情報収集・分析及び迅速なフィードバックを行い、医療事故の発生・再発防止に取り組む。	(9) 医療安全対策 ア 医療事故防止対策 専従のリスクマネージャーを中心に、インシデントやアクシデントの情報収集・分析及び迅速なフィードバックを行い、医療事故の発生・再発防止に取り組む。																																

第4期中期計画	令和8年度(2026年度) 年度計画																								
イ 院内感染対策 ICT(感染対策チーム)のラウンド(巡回)等により、院内感染事例の把握と対策の指導を行うほか、抗菌薬の適正使用を推進し、院内感染の発生・拡大防止に取り組む。 また、新興・再興感染症等が発生した場合には、感染防止対策を徹底しながら、状況に応じて適切に対応する。 ウ 職員全体研修の実施 職員全員に参加を義務づける研修を通年にわたって開催し、医療安全及び感染対策に関し確実に徹底を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)</td><td>2,055</td></tr> <tr> <td>(うちインシデントの割合)(%)</td><td>(99.8)</td></tr> <tr> <td>(うちアクシデントの割合)(%)</td><td>(0.2)</td></tr> <tr> <td>医療安全研修受講率(%)</td><td>97.9</td></tr> <tr> <td>感染対策研修受講率(%)</td><td>95.6</td></tr> </table>	項目	令和6年度実績	インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)	2,055	(うちインシデントの割合)(%)	(99.8)	(うちアクシデントの割合)(%)	(0.2)	医療安全研修受講率(%)	97.9	感染対策研修受講率(%)	95.6	イ 院内感染対策 ICT(感染対策チーム)のラウンド(巡回)等により、院内感染事例の把握と対策の指導を行うほか、抗菌薬の適正使用を推進し、院内感染の発生・拡大防止に取り組む。 また、新興・再興感染症等が発生した場合には、感染防止対策を徹底しながら、状況に応じて適切に対応する。 ウ 職員全体研修の実施 職員全員に参加を義務づける研修を通年にわたって開催し、医療安全及び感染対策に関し確実に徹底を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)</td><td>2,055</td></tr> <tr> <td>(うちインシデントの割合)(%)</td><td>(99.8)</td></tr> <tr> <td>(うちアクシデントの割合)(%)</td><td>(0.2)</td></tr> <tr> <td>医療安全研修受講率(%)</td><td>97.9</td></tr> <tr> <td>感染対策研修受講率(%)</td><td>95.6</td></tr> </table>	項目	令和6年度実績	インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)	2,055	(うちインシデントの割合)(%)	(99.8)	(うちアクシデントの割合)(%)	(0.2)	医療安全研修受講率(%)	97.9	感染対策研修受講率(%)	95.6
項目	令和6年度実績																								
インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)	2,055																								
(うちインシデントの割合)(%)	(99.8)																								
(うちアクシデントの割合)(%)	(0.2)																								
医療安全研修受講率(%)	97.9																								
感染対策研修受講率(%)	95.6																								
項目	令和6年度実績																								
インシデント・アクシデントレポート報告件数(件)	2,055																								
(うちインシデントの割合)(%)	(99.8)																								
(うちアクシデントの割合)(%)	(0.2)																								
医療安全研修受講率(%)	97.9																								
感染対策研修受講率(%)	95.6																								
(10) コンプライアンス(法令遵守)の徹底	(10) コンプライアンス(法令遵守)の徹底																								
ア 関係法令の遵守による適正な業務運営 医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、「長野市民病院の理念」並びに医療人としての職業倫理に従い、適正な業務運営を行う。 イ 個人情報保護、情報公開等への適切な対応 個人情報保護及び情報公開については、関係する法令、ガイドライン等に基づき、適正に対処するほか、患者・家族から情報開示の求めがあった場合には、規定に則り適切に対応する。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>コンプライアンス研修開催数(回)</td><td>1</td></tr> <tr> <td>カルテ不正閲覧監査実施数(回)</td><td>0</td></tr> </table>	項目	令和6年度実績	コンプライアンス研修開催数(回)	1	カルテ不正閲覧監査実施数(回)	0	ア 関係法令の遵守による適正な業務運営 医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、「長野市民病院の理念」並びに医療人としての職業倫理に従い、適正な業務運営を行う。 イ 個人情報保護、情報公開等への適切な対応 個人情報保護及び情報公開については、関係する法令、ガイドライン等に基づき、適正に対処するほか、患者・家族から情報開示の求めがあった場合には、規定に則り適切に対応する。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>コンプライアンス研修開催数(回)</td><td>1</td></tr> <tr> <td>カルテ不正閲覧監査実施数(回)</td><td>0</td></tr> </table>	項目	令和6年度実績	コンプライアンス研修開催数(回)	1	カルテ不正閲覧監査実施数(回)	0												
項目	令和6年度実績																								
コンプライアンス研修開催数(回)	1																								
カルテ不正閲覧監査実施数(回)	0																								
項目	令和6年度実績																								
コンプライアンス研修開催数(回)	1																								
カルテ不正閲覧監査実施数(回)	0																								
5 地域との連携推進	5 地域との連携推進																								
地域医療支援病院運営委員会など、地域住民の代表者を交えての定期的な意見交換やボランティアの受入れ等を通して、病院と地域との積極的な連携強化を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>地域医療支援病院運営委員会開催数(回)</td><td>4</td></tr> </table>	項目	令和6年度実績	地域医療支援病院運営委員会開催数(回)	4	地域医療支援病院運営委員会など、地域住民の代表者を交えての定期的な意見交換やボランティアの受入れ等を通して、病院と地域との積極的な連携強化を図る。 【関連項目】 <table> <tr> <th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr> <tr> <td>地域医療支援病院運営委員会開催数(回)</td><td>4</td></tr> </table>	項目	令和6年度実績	地域医療支援病院運営委員会開催数(回)	4																
項目	令和6年度実績																								
地域医療支援病院運営委員会開催数(回)	4																								
項目	令和6年度実績																								
地域医療支援病院運営委員会開催数(回)	4																								
第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置																								
Ⅰ 経営管理機能の充実	Ⅰ 経営管理機能の充実																								
(1) 管理運営体制の強化	(1) 管理運営体制の強化																								
ア 中期計画及び年度計画に基づく効果的かつ効率的な業務運営の推進 中期目標を達成するため、迅速な意思決定と機動的な経営判断により効果的かつ効率的な業務運営を推進するとともに、法人組織として内部統制の体制充実を図る。 また、中期計画・年度計画の確実な遂行に向けて、進捗管理を適切に行いながら一丸となって取り組む。	ア 中期計画及び年度計画に基づく効果的かつ効率的な業務運営の推進 中期目標を達成するため、迅速な意思決定と機動的な経営判断により効果的かつ効率的な業務運営を推進するとともに、法人組織として内部統制の体制充実を図る。 また、中期計画・年度計画の確実な遂行に向けて、進捗管理を適切に行いながら一丸となって取り組む。																								

第4期中期計画	令和8年度（2026年度）年度計画																
イ 経営情報の収集・分析・共有 医療制度改革や診療報酬改定、並びに近隣病院の動向等を的確に把握・分析し、自律的かつ戦略的な病院経営を推進する。 また、医療情報システム等のデータを利活用して稼働状況を可視化するとともに全職員で情報を共有し、経営参画意識を醸成する。 ウ 企画力・実行力の強化 医療経営や医療事務に係る専門知識、業務経験を有する人材の確保・育成に努め、企画力・実行力の強化を図る。 エ 会計情報の信頼性向上 監査法人等と任意で契約し、会計に関する監査・指導を受けることで、会計情報の信頼性向上を図る。 【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>経営報告会開催数(回)</td><td>4</td></tr><tr><td>診療報酬等に関する研修会開催数(回)</td><td>2</td></tr><tr><td>経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)</td><td>18</td></tr></table>	項目	令和6年度実績	経営報告会開催数(回)	4	診療報酬等に関する研修会開催数(回)	2	経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)	18	イ 経営情報の収集・分析・共有 医療制度改革や診療報酬改定、並びに近隣病院の動向等を的確に把握・分析し、自律的かつ戦略的な病院経営を推進する。 また、医療情報システム等のデータを利活用して稼働状況を可視化するとともに全職員で情報を共有し、経営参画意識を醸成する。 ウ 企画力・実行力の強化 医療経営や医療事務に係る専門知識、業務経験を有する人材の確保・育成に努め、企画力・実行力の強化を図る。 エ 会計情報の信頼性向上 監査法人等と任意で契約し、会計に関する監査・指導を受けることで、会計情報の信頼性向上を図る。 【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>経営報告会開催数(回)</td><td>4</td></tr><tr><td>診療報酬等に関する研修会開催数(回)</td><td>2</td></tr><tr><td>経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)</td><td>18</td></tr></table>	項目	令和6年度実績	経営報告会開催数(回)	4	診療報酬等に関する研修会開催数(回)	2	経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)	18
項目	令和6年度実績																
経営報告会開催数(回)	4																
診療報酬等に関する研修会開催数(回)	2																
経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)	18																
項目	令和6年度実績																
経営報告会開催数(回)	4																
診療報酬等に関する研修会開催数(回)	2																
経営に関する院外研修会への延べ参加人数(人)	18																
(2) 業務改善の推進 ア 業務改善への職員の参画 部門別の目標管理を行う中で評価・改善を行い、部署ごとに業務改善を推進する。 また、職員が組織横断的な委員会・チーム活動に従事する中で、それぞれの職種の立場から業務運営の改善に取り組む。 イ 病院機能評価等の外部評価の活用 病院機能評価や人間ドック健診施設機能評価などの第三者評価を活用し、継続的な医療サービスの向上及び業務改善を図る。 また、日本病院会の「QIプロジェクト」をはじめとする外部機関の評価事業に継続参加し、自院データの経時的な分析や他施設とのベンチマークを行い、医療・看護の質向上に取り組む。 【目標指標】 <table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和11年度目標</th></tr><tr><td>病院機能評価のS及びA評価の比率(%)</td><td>89.8</td><td>90.0</td></tr></table> (注) 令和6年度実績は、前回受審(令和5年度)実績。 次回受審は令和10年度。	指標	令和6年度実績	令和11年度目標	病院機能評価のS及びA評価の比率(%)	89.8	90.0	(2) 業務改善の推進 ア 業務改善への職員の参画 部門別の目標管理を行う中で評価・改善を行い、部署ごとに業務改善を推進する。 また、職員が組織横断的な委員会・チーム活動に従事する中で、それぞれの職種の立場から業務運営の改善に取り組む。 イ 病院機能評価等の外部評価の活用 病院機能評価や人間ドック健診施設機能評価などの第三者評価を活用し、継続的な医療サービスの向上及び業務改善を図る。 また、日本病院会の「QIプロジェクト」をはじめとする外部機関の評価事業に継続参加し、自院データの経時的な分析や他施設とのベンチマークを行い、医療・看護の質向上に取り組む。										
指標	令和6年度実績	令和11年度目標															
病院機能評価のS及びA評価の比率(%)	89.8	90.0															
2 働きやすくやりがいのある職場環境の整備	2 働きやすくやりがいのある職場環境の整備																
(1) 人事評価制度の推進 職員のモチベーション向上のため、コンピテンシー能力評価制度を適切に運用して適材適所の人材登用を行い、組織の活性化と管理職の育成に努める。 また、これと関連して、人事給与制度についても適宜見直しを検討する。	(1) 人事評価制度の推進 職員のモチベーション向上のため、コンピテンシー能力評価制度を適切に運用して適材適所の人材登用を行い、組織の活性化と管理職の育成に努める。 また、これと関連して、人事給与制度についても適宜見直しを検討する。																
(2) 働き方改革の推進 国が推進する働き方改革の動向を踏まえ、多職種間のタスク・シフティング(業務の移管)、タスク・シェアリング(業務の共同化)を検討し、医師を含む全職員の時間外労働時間の縮減と有給休暇の取得を促進する。 また、DX等を活用した業務の効率化に取り組む。 【目標指標】 <table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和11年度目標</th></tr><tr><td>月平均時間外労働時間(時間)</td><td>15.9</td><td>14.0</td></tr></table> (注) 医師を含む全正規職員一人あたりの時間。	指標	令和6年度実績	令和11年度目標	月平均時間外労働時間(時間)	15.9	14.0	(2) 働き方改革の推進 国が推進する働き方改革の動向を踏まえ、多職種間のタスク・シフティング(業務の移管)、タスク・シェアリング(業務の共同化)を検討し、医師を含む全職員の時間外労働時間の縮減と有給休暇の取得を促進する。 また、DX等を活用した業務の効率化に取り組む。 【目標指標】 <table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和8年度目標</th></tr><tr><td>月平均時間外労働時間(時間)</td><td>15.9</td><td>14.0</td></tr></table> (注) 医師を含む全正規職員一人あたりの時間。	指標	令和6年度実績	令和8年度目標	月平均時間外労働時間(時間)	15.9	14.0				
指標	令和6年度実績	令和11年度目標															
月平均時間外労働時間(時間)	15.9	14.0															
指標	令和6年度実績	令和8年度目標															
月平均時間外労働時間(時間)	15.9	14.0															

第4期中期計画	令和8年度（2026年度）年度計画																								
【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>有給休暇平均取得日数(日)</td><td>12.5</td></tr></table> (注) 有給休暇平均取得日数は、全正規職員一人当たりの取得日数で、リフレッシュ休暇(付与日数3日)を含まない。	項目	令和6年度実績	有給休暇平均取得日数(日)	12.5	【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>有給休暇平均取得日数(日)</td><td>12.5</td></tr></table> (注) 有給休暇平均取得日数は、全正規職員一人当たりの取得日数で、リフレッシュ休暇(付与日数3日)を含まない。	項目	令和6年度実績	有給休暇平均取得日数(日)	12.5																
項目	令和6年度実績																								
有給休暇平均取得日数(日)	12.5																								
項目	令和6年度実績																								
有給休暇平均取得日数(日)	12.5																								
(3) 働きやすくやりがいのある職場環境づくり 職員のワークライフバランスに配慮し、業務運営の見直しや院内託児所の充実などを通して、職員が安心して働ける職場環境を整備する。 また、職員向けの相談窓口を設けてメンタルヘルスやハラスメントなどに迅速に対処し、恒常的に職員の意見を汲み上げて改善を図る。さらに、精神科医師が職員のメンタルヘルスをサポートすることにより、職員の働きやすさの更なる向上を図る。 加えて、資格取得や学会等への参加費用を助成することで職員のキャリアアップを積極的に支援し、職員の就労意欲の維持向上に努める。	(3) 働きやすくやりがいのある職場環境づくり 職員のワークライフバランスに配慮し、業務運営の見直しや院内託児所の充実などを通して、職員が安心して働ける職場環境を整備する。 また、職員向けの相談窓口を設けてメンタルヘルスやハラスメントなどに迅速に対処し、恒常的に職員の意見を汲み上げて改善を図る。さらに、精神科医師が職員のメンタルヘルスをサポートすることにより、職員の働きやすさの更なる向上を図る。 加えて、資格取得や学会等への参加費用を助成することで職員のキャリアアップを積極的に支援し、職員の就労意欲の維持向上に努める。																								
【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>正規職員看護師離職率(%)</td><td>7.5</td></tr><tr><td>専門医延べ人数(人) (再掲)</td><td>156</td></tr><tr><td>専門看護師、認定看護師延べ人数(人) (再掲)</td><td>24</td></tr><tr><td>学会参加費用支援数(件) (再掲)</td><td>411</td></tr></table>	項目	令和6年度実績	正規職員看護師離職率(%)	7.5	専門医延べ人数(人) (再掲)	156	専門看護師、認定看護師延べ人数(人) (再掲)	24	学会参加費用支援数(件) (再掲)	411	【関連項目】 <table><tr><th>項目</th><th>令和6年度実績</th></tr><tr><td>正規職員看護師離職率(%)</td><td>7.5</td></tr><tr><td>専門医延べ人数(人) (再掲)</td><td>156</td></tr><tr><td>専門看護師、認定看護師延べ人数(人) (再掲)</td><td>24</td></tr><tr><td>学会参加費用支援数(件) (再掲)</td><td>411</td></tr></table>	項目	令和6年度実績	正規職員看護師離職率(%)	7.5	専門医延べ人数(人) (再掲)	156	専門看護師、認定看護師延べ人数(人) (再掲)	24	学会参加費用支援数(件) (再掲)	411				
項目	令和6年度実績																								
正規職員看護師離職率(%)	7.5																								
専門医延べ人数(人) (再掲)	156																								
専門看護師、認定看護師延べ人数(人) (再掲)	24																								
学会参加費用支援数(件) (再掲)	411																								
項目	令和6年度実績																								
正規職員看護師離職率(%)	7.5																								
専門医延べ人数(人) (再掲)	156																								
専門看護師、認定看護師延べ人数(人) (再掲)	24																								
学会参加費用支援数(件) (再掲)	411																								
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置																								
Ⅰ 経営強化に向けた取組の推進	Ⅰ 経営強化に向けた取組の推進																								
(1) 効率的な経営の推進 救急患者の積極的な受入れや地域の医療機関等との連携強化等により患者数を確保し、収益力の向上を図る。また、費用節減の徹底を図りながら効率的な経営を推進し、各事業年度の経常収支比率100%以上の達成に努める。	(1) 効率的な経営の推進 救急患者の積極的な受入れや地域の医療機関等との連携強化等により患者数を確保し、収益力の向上を図る。また、費用節減の徹底を図りながら効率的な経営を推進し、経常収支比率100%以上の達成に努める。																								
【目標指標】 <table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和11年度目標</th></tr><tr><td>経常収支比率(%)</td><td>99.3</td><td>99.1</td></tr><tr><td>修正医業収支比率(%)</td><td>92.5</td><td>93.3</td></tr><tr><td>新入院患者数(人)</td><td>10,737</td><td>11,337</td></tr></table> (注) 修正医業収支比率は、修正医業収益／(医業費用＋一般管理費)×100とする。 修正医業収益は運営費負担金を除く。	指標	令和6年度実績	令和11年度目標	経常収支比率(%)	99.3	99.1	修正医業収支比率(%)	92.5	93.3	新入院患者数(人)	10,737	11,337	【目標指標】 <table><tr><th>指標</th><th>令和6年度実績</th><th>令和8年度目標</th></tr><tr><td>経常収支比率(%)</td><td>99.3</td><td>101.1</td></tr><tr><td>修正医業収支比率(%)</td><td>92.5</td><td>95.5</td></tr><tr><td>新入院患者数(人)</td><td>10,737</td><td>11,337</td></tr></table> (注) 修正医業収支比率は、修正医業収益／(医業費用＋一般管理費)×100とする。 修正医業収益は運営費負担金を除く。	指標	令和6年度実績	令和8年度目標	経常収支比率(%)	99.3	101.1	修正医業収支比率(%)	92.5	95.5	新入院患者数(人)	10,737	11,337
指標	令和6年度実績	令和11年度目標																							
経常収支比率(%)	99.3	99.1																							
修正医業収支比率(%)	92.5	93.3																							
新入院患者数(人)	10,737	11,337																							
指標	令和6年度実績	令和8年度目標																							
経常収支比率(%)	99.3	101.1																							
修正医業収支比率(%)	92.5	95.5																							
新入院患者数(人)	10,737	11,337																							

第4期中期計画			令和8年度（2026年度）年度計画		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	令和6年度実績		項目	令和6年度実績	
病床稼働率（％） （地域包括ケア病棟を除く率）	95.2 (95.1)		病床稼働率（％） （地域包括ケア病棟を除く率）	95.2 (95.1)	
平均在院日数（日） （地域包括ケア病棟を除く日数）	11.9 (10.9)		平均在院日数（日） （地域包括ケア病棟を除く日数）	11.9 (10.9)	
延べ入院患者数（人）	138,924		延べ入院患者数（人）	138,924	
1日当たり入院患者数（人）	351		1日当たり入院患者数（人）	351	
1日当たり入院単価（円）	74,488		1日当たり入院単価（円）	74,488	
医師1人当たり入院診療収入（千円）	84,131		医師1人当たり入院診療収入（千円）	84,131	
看護師1人当たり入院診療収入（千円）	19,488		看護師1人当たり入院診療収入（千円）	19,488	
延べ外来患者数（人）	226,469		延べ外来患者数（人）	226,469	
1日当たり外来患者数（人）	932		1日当たり外来患者数（人）	932	
1日当たり外来単価（円）	23,492		1日当たり外来単価（円）	23,492	
医師1人当たり外来診療収入（千円）	43,254		医師1人当たり外来診療収入（千円）	43,254	
看護師1人当たり外来診療収入（千円）	10,019		看護師1人当たり外来診療収入（千円）	10,019	
(2) 診療報酬改定等の制度改正への適切な対応			(2) 診療報酬改定等の制度改正への適切な対応		
医療制度改革や診療報酬改定への適切な対応を図るとともに、DPC/PDPS（診断群分類別包括支払制度）の評価向上を目指すなど、収益の確保を図る。			医療制度改革や診療報酬改定への適切な対応を図るとともに、DPC/PDPS（診断群分類別包括支払制度）の評価向上を目指すなど、収益の確保を図る。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	令和6年度実績		項目	令和6年度実績	
DPC機能評価係数Ⅱの数値	0.0668		DPC機能評価係数Ⅱの数値	0.0668	
(3) 適正な人員配置			(3) 適正な人員配置		
業務の質の維持、新規施設基準の取得や診療機能強化に見合った適正な人員配置により収益の確保に努める。			業務の質の維持、新規施設基準の取得や診療機能強化に見合った適正な人員配置により収益の確保に努める。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	令和6年度実績	令和11年度目標	指標	令和6年度実績	令和8年度目標
対修正医業収益給与費比率（％）	53.2	51.3	対修正医業収益給与費比率（％）	53.2	50.5
(注) 対修正医業収益給与比率は(給与費(医業費用)＋給与費(一般管理費))／修正医業収益×100とする。			(注) 対修正医業収益給与比率は(給与費(医業費用)＋給与費(一般管理費))／修正医業収益×100とする。		
(4) 診療報酬請求漏れや返戻・査定減の防止			(4) 診療報酬請求漏れや返戻・査定減の防止		
デジタル技術等の活用や部署横断的な情報共有等によるレセプトの点検強化及び精度向上を図り、請求漏れの防止や返戻・査定の低減に努める。			デジタル技術等の活用や部署横断的な情報共有等によるレセプトの点検強化及び精度向上を図り、請求漏れの防止や返戻・査定の低減に努める。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	令和6年度実績	令和11年度目標	指標	令和6年度実績	令和8年度目標
レセプト返戻率（％）	5.60	5.00	レセプト返戻率（％）	5.60	5.30
レセプト査定率（％）	0.46	0.35	レセプト査定率（％）	0.46	0.50
(5) 未収金の管理と回収			(5) 未収金の管理と回収		
多様な支払い方法を提供するなど未収金の発生防止に努めるとともに、督促の徹底や債権回収の外部委託などにより未収金残高の低減に努める。			多様な支払い方法を提供するなど未収金の発生防止に努めるとともに、督促の徹底や債権回収の外部委託などにより未収金残高の低減に努める。		

第4期中期計画			令和8年度（2026年度）年度計画		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	令和6年度実績		項目	令和6年度実績	
現年度収納率（％）	99.8		現年度収納率（％）	99.8	
破産更生債権等新規発生件数（件）	72		破産更生債権等新規発生件数（件）	72	
（注）現年度収納率は、現年度に発生した患者一部負担金の収納率。			（注）現年度収納率は、現年度に発生した患者一部負担金の収納率。		
(6) 業務の質と量に応じた費用の適正化			(6) 業務の質と量に応じた費用の適正化		
診療機能の維持・向上を図りながら、DX等による業務の効率化に取り組むとともに、材料費の抑制と経費の節減に努め、業務の質と量に応じた費用の適正化を図る。			診療機能の維持・向上を図りながら、DX等による業務の効率化に取り組むとともに、材料費の抑制と経費の節減に努め、業務の質と量に応じた費用の適正化を図る。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	令和6年度実績	令和11年度目標	指標	令和6年度実績	令和8年度目標
対修正医業収益診療材料費比率（％）	13.3	12.7	対修正医業収益診療材料費比率（％）	13.3	12.7
対修正医業収益薬品費比率（％）	17.4	19.6	対修正医業収益薬品費比率（％）	17.4	18.0
対修正医業収益委託費比率（％）	6.5	6.0	対修正医業収益委託費比率（％）	6.5	6.5
対修正医業収益減価償却費比率（％）	6.3	7.1	対修正医業収益減価償却費比率（％）	6.3	6.1
（注）対修正医業収益診療材料費比率は、診療材料費(医業費用)/修正医業収益×100とする。 対修正医業収益薬品費比率は、薬品費(医業費用)/修正医業収益×100とする。 対修正医業収益委託費比率は、(委託費(医業費用)+委託費(一般管理費))/修正医業収益×100とする。 対修正医業収益減価償却費比率は、(減価償却費(医業費用)+減価償却費(一般管理費))/修正医業収益×100とする。			（注）対修正医業収益診療材料費比率は、診療材料費(医業費用)/修正医業収益×100とする。 対修正医業収益薬品費比率は、薬品費(医業費用)/修正医業収益×100とする。 対修正医業収益委託費比率は、(委託費(医業費用)+委託費(一般管理費))/修正医業収益×100とする。 対修正医業収益減価償却費比率は、(減価償却費(医業費用)+減価償却費(一般管理費))/修正医業収益×100とする。		
【関連項目】			【関連項目】		
項目	令和6年度実績		項目	令和6年度実績	
後発医薬品の使用割合（％）	93.6		後発医薬品の使用割合（％）	93.6	
2 持続可能な経営基盤の確立			2 持続可能な経営基盤の確立		
地域住民に良質で安全な医療を継続して提供するため、地方独立行政法人の特長を活かした経営手法により経済性を発揮し、経営強化プランに沿って、持続可能な自立した経営基盤の確立を目指して更なる経営の健全化に取り組む。			地域住民に良質で安全な医療を継続して提供するため、地方独立行政法人の特長を活かした経営手法により経済性を発揮し、経営強化プランに沿って、持続可能な自立した経営基盤の確立を目指して更なる経営の健全化に取り組む。		
【目標指標】			【目標指標】		
指標	令和6年度実績	令和11年度目標	指標	令和6年度実績	令和8年度目標
対修正医業収益運営費負担金比率（％）	7.0	5.2	対修正医業収益運営費負担金比率（％）	7.0	5.5
（注）対修正医業収益運営費負担金比率は、運営費負担金/修正医業収益×100とする。			（注）対修正医業収益運営費負担金比率は、運営費負担金/修正医業収益×100とする。		
第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置			第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置		
Ⅰ 施設整備等に関する事項			Ⅰ 施設整備等に関する事項		
(1) 施設設備等の維持管理			(1) 施設設備等の維持管理		
長野市民病院が開院以来提供してきた高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、日常の維持管理を行うとともに、中期的な視点に立って適正かつ効率的に保守点検や修繕、設備の更新を実施する。 また、施設設備を運用する中で、省エネルギー対策を進めるとともに、延床面積あたりのCO2排出量の年率1％削減に取り組むなど、環境への配慮に努める。 低利用・未利用の施設や設備については、活用方法等を検討する。			長野市民病院が開院以来提供してきた高度で安全・良質な医療を将来にわたって持続的に提供できるよう、日常の維持管理を行うとともに、中期的な視点に立って適正かつ効率的に保守点検や修繕、設備の更新を実施する。 また、施設設備を運用する中で、省エネルギー対策を進めるとともに、延床面積あたりのCO2排出量の年率1％削減に取り組むなど、環境への配慮に努める。 低利用・未利用の施設や設備については、活用方法等を検討する。		
(2) 施設設備等の改修			(2) 施設設備等の改修		
施設の経年使用による老朽化等に対応するため、厨房及び手術室の改修を計画・実施する。			施設の経年使用による老朽化等に対応するため、厨房及び手術室等の改修計画の検討を進める。		

第4期中期計画		令和8年度（2026年度）年度計画	
第6 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画、資金計画		第5 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画、資金計画	
Ⅰ 予算（令和8年度から令和11年度まで）		Ⅰ 予算（令和8年度）	
（単位：百万円）		（単位：百万円）	
区分	金額	区分	金額
収入		収入	
営業収益	80,903	営業収益	19,472
医業収益	76,628	医業収益	18,399
運営費負担金	3,787	運営費負担金	952
その他営業収益	488	その他営業収益	120
営業外収益	655	営業外収益	165
運営費負担金	192	運営費負担金	53
その他営業外収益	463	その他営業外収益	112
資本収入	983	資本収入	304
長期借入金	983	長期借入金	304
その他資本収入	0	その他資本収入	0
計	82,541	計	19,940
支出		支出	
営業費用	75,776	営業費用	18,084
医業費用	74,534	医業費用	17,779
給与費	37,215	給与費	8,853
材料費	26,596	材料費	6,216
経費	10,420	経費	2,635
研究研修費	303	研究研修費	75
一般管理費	1,242	一般管理費	304
営業外費用	558	営業外費用	147
資本支出	5,570	資本支出	1,139
建設改良費	3,380	建設改良費	666
償還金	2,180	償還金	471
その他資本支出	10	その他資本支出	2
計	81,905	計	19,369
（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。		（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。	
ア 人件費の見積り 期間中総額38,333百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。		ア 人件費の見積り 期間中総額9,126百万円を支出する。 なお、当該金額は、法人の役職員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。	
イ 運営費負担金の基準等 運営費負担金については、総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じ算定した額とする。 また、建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金については、経常費助成のための運営費負担金とする。		イ 運営費負担金の基準等 運営費負担金については、総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じ算定した額とする。 また、建設改良費及び長期借入金等元利償還金に充当される運営費負担金については、経常費助成のための運営費負担金とする。	

第4期中期計画		令和8年度(2026年度) 年度計画	
2 収支計画(令和8年度から令和11年度まで)		2 収支計画(令和8年度)	
(単位:百万円)		(単位:百万円)	
区分	金額	区分	金額
収入の部	81,732	収入の部	19,662
営業収益	81,106	営業収益	19,503
医業収益	76,318	医業収益	18,323
運営費負担金収益	3,787	運営費負担金収益	952
資産見返負債戻入	541	資産見返負債戻入	115
その他営業収益	461	その他営業収益	113
営業外収益	626	営業外収益	158
運営費負担金収益	192	運営費負担金収益	53
その他営業外収益	435	その他営業外収益	105
臨時利益	0	臨時利益	0
支出の部	81,557	支出の部	19,449
営業費用	80,737	営業費用	19,197
医業費用	79,445	医業費用	18,880
給与費	37,702	給与費	8,974
材料費	24,178	材料費	5,651
経費	12,415	経費	3,075
減価償却費	4,875	減価償却費	1,110
研究研修費	276	研究研修費	69
一般管理費	1,292	一般管理費	317
営業外費用	819	営業外費用	253
臨時損失	0	臨時損失	0
純利益	175	純利益	212
目的積立金取崩額	0	目的積立金取崩額	0
総利益	175	総利益	212
(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。 各年度の収支計画については、別紙2を参照。		(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。	

第4期中期計画		令和8年度(2026年度) 年度計画	
3 資金計画(令和8年度から令和11年度まで)		3 資金計画(令和8年度)	
(単位:百万円)		(単位:百万円)	
区分	金額	区分	金額
資金収入	104,344	資金収入	26,731
業務活動による収入	81,558	業務活動による収入	19,637
診療業務による収入	76,628	診療業務による収入	18,399
運営費負担金による収入	3,979	運営費負担金による収入	1,006
その他の業務活動による収入	952	その他の業務活動による収入	232
投資活動による収入	20,016	投資活動による収入	5,004
定期預金の払戻による収入	20,016	定期預金の払戻による収入	5,004
財務活動による収入	983	財務活動による収入	304
長期借入による収入	983	長期借入による収入	304
その他の財務活動による収入	0	その他の財務活動による収入	0
前期中期目標期間からの繰越金	1,787	前期中期目標期間からの繰越金	1,787
資金支出	104,344	資金支出	24,483
業務活動による支出	76,049	業務活動による支出	18,138
給与費支出	38,333	給与費支出	9,126
材料費支出	26,596	材料費支出	6,216
その他の業務活動による支出	11,121	その他の業務活動による支出	2,795
投資活動による支出	23,806	投資活動による支出	5,772
有形固定資産の取得による支出	3,380	有形固定資産の取得による支出	666
定期預金の預入による支出	20,016	定期預金の預入による支出	5,004
長期性預金の預入による支出	400	長期性預金の預入による支出	100
その他の投資活動による支出	10	その他の投資活動による支出	2
財務活動による支出	2,494	財務活動による支出	573
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,028	移行前地方債償還債務の償還による支出	249
長期借入金等の返済による支出	1,152	長期借入金等の返済による支出	222
その他の財務活動による支出	314	その他の財務活動による支出	102
次期中期目標期間への繰越金	1,995	次期中期目標期間への繰越金	2,248
(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。		(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがある。	
第7 短期借入金の限度額		第6 短期借入金の限度額	
1 限度額		1 限度額	
1,200百万円		1,200百万円	
2 想定される短期借入金の発生理由		2 想定される短期借入金の発生理由	
(1) 賞与支給による一時的な資金不足への対応 (2) 大規模災害や予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給など偶発的な出費への対応 (3) 医療機器等の購入に係る一時的な資金不足への対応 (4) 上記の理由に加え、運用資産を取り崩すことが適当でないと認められる場合		(1) 賞与支給による一時的な資金不足への対応 (2) 大規模災害や予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給など偶発的な出費への対応 (3) 医療機器等の購入に係る一時的な資金不足への対応 (4) 上記の理由に加え、運用資産を取り崩すことが適当でないと認められる場合	
第8 出資等に係る不要財産の処分に関する計画			
なし			
第9 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画			
なし			

第4期中期計画			令和8年度(2026年度) 年度計画		
第10 剰余金の使途			第7 剰余金の使途		
決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、研修や教育など人材育成と能力開発の充実に充てる。			決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、研修や教育など人材育成と能力開発の充実に充てる。		
第11 料金に関する事項					
1 使用料及び手数料					
病院の使用料及び手数料は、次に定める額とする。 (1) 健康保険法(大正11年法律第70号)、高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)、介護保険法(平成9年法律第123号)、その他の法令等に基づき算定した額 (2) (1)に掲げるもの以外の額は、理事長が別に定める。					
2 料金の納付					
料金は、診療等を受けたとき又は文書の交付を受けたときに納付しなければならない。ただし、理事長が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。					
3 使用料等の減免					
料金は、理事長が特別の理由があると認めるときは、使用料等の全部又は一部を減免することができる。					
第12 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			第8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項		
1 施設及び設備に関する計画(令和8年度から令和11年度まで)			1 施設及び設備に関する計画(令和8年度)		
(単位:百万円)			(単位:百万円)		
施設及び設備の内容	予定額	財源	施設及び設備の内容	予定額	財源
病院施設、医療機器等整備	3,380	自己資金等	病院施設、医療機器等整備	666	自己資金等
2 中期目標期間を超える債務負担					
(1) 移行前地方債償還債務					
(単位:百万円)					
年度 項目	中期目標期間 償還額	次期以降 償還額	総債務 償還額		
移行前地方債償還債務	1,028	1,657	2,685		
(2) 長期借入金償還債務					
(単位:百万円)					
年度 項目	中期目標期間 償還額	次期以降 償還額	総債務 償還額		
長期借入金償還債務	1,152	2,891	4,043		
3 積立金の処分にに関する計画					
前期中期目標期間繰越積立金については、病院施設の整備、医療機器等の購入、研修や教育など人材育成と能力開発の充実に充てる。					